



ダクトリ会50周年のご挨拶

平素より各ダクトリ動物病院に格別のご高配をいただき、誠にありがとうございます。

我々ダクトリ動物病院は、「人・動物・自然(地球環境の保全)を大切にする」ことを使命としています。これまでさまざまな形で私たちを支えてきてくださったお客様・ご関係の皆様のおかげで、ダクトリ会は、50周年を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。

この50周年を記念いたしまして、ダクトリ会では、2名の高名なゲストスピーカーをお招きし、東京(10/24(木) 港区・シェラトン都ホテル)、北海道(10/21(月) 北海道大学・学術交流館「講堂」)、大阪(10/22(火) 大阪府立大学・りんくうキャンパス)の三か所で講演会を開催する運びとなりました。

ゲストスピーカーの一人は、ズー・メディシン(Zoo logical medicine/動物園動物医学)の専門医であり、コロラド州立獣医科大学(CSU)の学長であるマーク・ステッター先生、そしてもう一人は、コネチカット州ノーウォーク・獣医がんセンターよりお招きしたジェラルド・ポスト先生です。ポスト先生は、腫瘍学の研究・治療法の改善および製薬において、世界で誰一人知らない人はいない超有名な先生です。

人も動物も共通であり、医学はひとつという考え「One Medicine・One Health」がズービキティZoobiquityの根幹です。残念ながら、日本ではこの言葉がよく認知されていませんが、この講演会から日本の「One Medicine・One Health=Zoobiquity」運動がスタートすると言っても、決して過言ではありません。

さらに来年2020年11月には、「ズービキティ」の提唱者である、カリフォルニア州立大学医科大学UCLA医療センター心臓専門医 バーバラ・ナッターソン=ホロウィッツ教授(ハーバード大学医科大学 人の遺伝子学教授)をお招きし、東京大学・弥生講堂で、日本初の「ズービキティ・シンポジウムinジャパン」の開催を予定しています。代表の加藤元は、この打ち合わせのために、すでにホロウィッツ先生に2度お目にかかっています。

この記念すべき50周年記念講演会に、皆様にご参加頂けることを何卒お願い申し上げます。

ダクトリ会 代表 加藤 元
会 長 山崎良三
副会長 森 尚志